

世界史探究

- 1 次の文を読み、以下の問いに答えなさい。解答は1つだけ選んで番号をマークしなさい。

⑦アレクサンドロス大王の死後、彼の将軍プトレマイオスは①エジプトを支配下に置き、⑨プトレマイオス朝エジプトの最初の王となった。彼はアレクサンドリアに⑤図書館を建てたが、④を書いたエウセビオスによると、王はここにユダヤ人の聖書を取めたいと考え、また自分たちでも読めるよう、⑥聖書のギリシア語訳の作成を70名のユダヤ人長老たちに個別に依頼した。ところが、終わってみると全員が一字一句違えずに⑧ギリシア語に⑦翻訳したことがわかり、王は非常に驚いたという。このギリシア語訳のユダヤ教聖書こそが、後にカトリック教会が公認する『旧約聖書』のもとになった。

問1 下線部⑦の人物に関する記述として、誤っているものを選びなさい。

- ① インダス川流域を転戦した。
- ② カイロネイアの戦いでペルシア王ダレイオス3世を打ち破った。
- ③ ペルセポリスを焼いた。
- ④ アレクサンドリア市を建てた。

問2 下線部①の歴史に関する記述として、誤っているものを選びなさい。

- ① アメンホテプ4世は都をテーベからアマルナに移した。
- ② サラディンがアイユーブ朝を開いた。
- ③ オスマン帝国がアブデュルハミト2世の時代にエジプトを併合した。
- ④ ナポレオン＝ボナパルトは、イギリスとインドの連絡を絶つ目的でこの地に遠征した。

問 8 下線部㉞に関する記述として、誤っているものを選びなさい。

- ① 英語のデモクラシーという語は、「民衆の支配」を意味するギリシア語デモクラティアが語源である。
- ② ヘレニズム時代には、コイナーと呼ばれるギリシア語が共通語となった。
- ③ 「キリスト」という語は、「ヤハウエ」をギリシア語に翻訳したものである。
- ④ ビザンツでは7世紀以降、公用語としてギリシア語が用いられた。

問 9 下線部㉟に関連して、世界史上の翻訳の歴史に関する記述として、誤っているものを選びなさい。

- ① 仏図澄は仏典の翻訳に活躍した。
- ② ルターは皇帝の庇護を受けて、『新約聖書』のドイツ語訳を完成させた。
- ③ 西夏では漢字の構造に倣った西夏文字で多くの仏典が翻訳された。
- ④ 中国では「ユークリッド幾何学」の翻訳『幾何原本』が刊行された。

- 2 次の文章①を読み、以下の問いに答えなさい。解答は1つだけ選んで番号をマークしなさい。

文章①

かつて⑦中世ヨーロッパの⑧都市は、⑨イスラームの形成、⑩地中海世界へのその進出の結果として、一旦衰退を経験したと考えられていた。そして⑪12世紀頃から復活すると考えられてきた。しかし近年では別様に考えられている。新しい説によると、8世紀頃から都市は様々な変化を伴いつつ、⑫13世紀頃の発展に向かって進んだというのである。いずれにせよ、13世紀には中世の都市は⑬商業の中心・拠点として、⑭飛躍的に展開した。

問10 下線部⑦における出来事について述べた次の文a～cが、年代の古いものから順に正しく配列されているものを選びなさい。

- a ユスティニアヌス帝が、『ローマ法大全』を編纂させた。
- b レコンキスタによって、グラナダが陥落した。
- c ローマ＝カトリック教会とギリシア正教会の分裂が起こった。

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ c → a → b

問11 下線部④に関連して、中世都市に関する記述として、誤っているものを選びなさい。

- ① 周囲は壁で囲まれていた。
- ② 大商人や手工業者がギルドをつくった。
- ③ 南ドイツでは、アウクスブルクなどが繁栄した。
- ④ フランドル地方の都市は、綿工業によって栄えた。

問 12 下線部㉔に関連して、イスラーム教に関する記述として、誤っているものを選びなさい。

- ① 『クルアーン（コーラン）』はイスラーム教の聖典である。
- ② アッラーを信じる一神教である。
- ③ 6世紀にイスラーム法が成立した。
- ④ メッカにあるカーバ神殿を聖地としている。

問 13 下線部㉕に関連して、前1世紀の地中海東岸及び南岸地域の情勢に関する記述として、最も適当なものを選びなさい。

- ① セレウコス朝やプトレマイオス朝が存在した。
- ② ユダヤ教に対する批判の中からキリスト教が生まれ、広く普及した。
- ③ 唯一神を信仰するユダヤ教が成立した。
- ④ 数度にわたるポエニ戦争でカルタゴが滅亡した。

問 14 下線部㉖の時期の出来事に関する記述として、最も適当なものを選びなさい。

- ① フランスで、メロヴィング朝が開かれた。
- ② イギリスで、プランタジネット朝が開かれた。
- ③ 北欧で、カルマル同盟が結ばれた。
- ④ 教皇庁が、アヴィニョンに移された。

問 15 下線部㉗の時期のイスラーム世界で起こった出来事に関する記述として、最も適当なものを選びなさい。

- ① アッバース朝が滅亡した。
- ② イェニチェリが廃止された。
- ③ オスマン帝国で、メフメト2世が即位した。
- ④ ヒジュラが行われた。

問 16 下線部⑤に関連して、14 世紀のイタリア商人が、地中海商業の一中心地であったアレクサンドリアの商品価格に関心を有していたことが知られる。このアレクサンドリアに関する記述として、最も適当なものを選びなさい。

- ① かつて初期キリスト教の五大教会（五本山）の一つが置かれていた。
- ② マムルーク朝はこの都市を首都と定めた。
- ③ 元来はクレオパトラが建設した都市であった。
- ④ 14 世紀当時、ムラービト朝の支配下にあった。

問 17 下線部⑦に関連して、11 世紀以降の西ヨーロッパで農業生産力が飛躍的に向上した要因と、その結果に関する記述として、誤っているものを選びなさい。

- ① 農具が改良され、有輪犁^{ゆうりんすき}などの利用が広まった。
- ② 三圃制の導入により、年に三回播種^{はしゅ}できるようになった。
- ③ 森林の開墾が進み、耕地が拡大した。
- ④ 共同の農作業を通じて、村ごとに農民相互の結びつきが強まった。

問 18 以下の文章②の内容を示す文 a・b と に入る人名との組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

文章②

イスラームの侵入は、世界的大変動をもたらす根底的な力をもって、歴史の流れを横切るようにして飛びこんできた。ムハンマド（571—632 年）の存命中でさえ、そのようなことが起こると考えた者も、またそれに備えることのできた者も、一人もいなかった。けれども、イスラームの侵入が支那海から大西洋まで広まるのに、50 年以上あまり多くの歳月は必要ではなかった。イスラームの侵入に抵抗するものは何もない。最初の攻撃でペルシア帝国を倒壊させ（633—644 年）、ビザンツ帝国からシリア（634—636 年）、エジプト（640—642 年）、アフリカ（643—708 年）を次々と奪取し、イスパニアに侵入する（711 年）。イスラームの侵略的前進は、八世紀の初めまでは止むことがないであろう。この時になって、一方ではコンスタンティノーブルの城壁が（717 年）、他方では の軍隊が（732 年）、キリスト教世界の二つの側面に向けられた二大包囲攻撃を撃砕してしまうであろう。しかし、その膨脹力は涸渇してしまうにしても、イスラームの侵入は地球の表面を変えてしまった。その突発的な圧力は古代世界を破壊してしまった。古代世界がそこに集まっていた地中海共同世界は終末を迎える。古代世界のあらゆる部分を結びつけていた、慣れ親しんでいた海、ほとんど自分の家のようにあった海が、今やそのあらゆる部分の間に横たわる障壁に転化しようとする。

佐々木克巳訳

（作題上の都合で出典は示さない）

文章の解釈

- a この文章は、文章①で紹介された古い説に属する。
- b この文章は、文章①で紹介された新しい説に属する。

に入る人名

X カール大帝

Y カール・マルテル

- ① a — X ② a — Y ③ b — X ④ b — Y

- 3 次の文を読み、以下の問いに答えなさい。解答は1つだけ選んで番号をマークしなさい。

㉗19世紀になると、オスマン帝国内の諸地域で独立の動きが強くなった。また、西洋の衝撃は㉘西アジアでも大きく、近代化政策が進められることになる。オスマン帝国では、㉙によって憲法が作られ、㉚アフリカでも近代化が進められた。

一方で、㉛ヨーロッパは、世界各地に進出をした。特に、㉜ロシアとオーストリアが㉝バルカン半島で対立した。

問 19 下線部㉗について、19世紀のオスマン帝国に関する記述として、誤っているものを選びなさい。

- ① 1839年にギュルハネ勅令を出し、タンジマートを始めた。
- ② イギリス・フランスの支援を受けて、クリミア戦争に勝利した。
- ③ ムハンマド・アリーがエジプト総督となった。
- ④ シリア領有を狙うムハンマド・アリーの軍を打ち破った。

問 20 下線部㉘に関連して、1796年にテヘランを都として成立したトルコ系の王朝として、最も適当なものを選びなさい。

- ① サウード朝
- ② ワッハーブ朝
- ③ カージャール（ガージャール）朝
- ④ サファヴィー朝

問 21 問 20の王朝が、1828年にカフカス（コーカサス）を巡って対立していたロシアとの間で結んだ条約として、最も適当なものを選びなさい。

- ① パリ条約
- ② トルコマンチャーイ条約
- ③ ヌイイ条約
- ④ ロンドン条約

問 22 空欄㉙に入る人物として、最も適当な人物を選びなさい。

- ① ミドハト・パシャ
- ② アブデュルハミト2世
- ③ マフムト2世
- ④ アーヤーン

問 23 下線部㊦に関連して、19 世紀のエジプトおよびスーダンに関する記述として、誤っているものを選びなさい。

- ① エジプトは、オスマン帝国から事実上独立し、近代化政策を進めた。
- ② エジプトは、10 年間をかけて 1869 年にスエズ運河を開通させた。
- ③ スーダンでは、ムハンマド・アフマドがマフディーを称してフランスに抵抗した。
- ④ エジプトではウラービーを指導者とした運動が盛り上がった。

問 24 下線部㊦に関連して、北アフリカ諸国はオスマン帝国の支配下からヨーロッパの保護国に変わっていった。1912 年にモロッコを保護国とした国として、最も適当な国を選びなさい。

- ① フランス
- ② イギリス
- ③ ロシア
- ④ ドイツ

問 25 下線部㊦に関連して、ドイツが推進した、ベルリン・イスタンブル・バグダードを結ぶ政策の名称として最も適当なものを選びなさい。

- ① 3 B 政策
- ② 3 C 政策
- ③ 縦断政策
- ④ 横断政策

問 26 下線部㊦に関連して、露土戦争とその講和条約に関する記述として、誤っているものを選びなさい。

- ① 露土戦争は、1875 年に起きたボスニア・ヘルツェゴビナでの蜂起をきっかけとしている。
- ② 1878 年にサン・ステファノ条約が結ばれた。
- ③ ドイツがサン・ステファノ条約に不服で、イギリスで再度会議が行われた。
- ④ セルビア、モンテネグロ、ルーマニアの独立が認められた。

問 27 下線部㊦に関連して、バルカン戦争に関する記述として、最も適切なものを選びなさい。

- ① セルビア、ルーマニア、モンテネグロなどはドイツの支援でバルカン同盟を結んでいた。
- ② 露土戦争に乗じて、バルカン同盟はオスマン帝国に宣戦布告した。
- ③ 第2次バルカン戦争は第1次バルカン戦争で得た領土の分割を巡って起こった。
- ④ 第2次バルカン戦争で敗れたブルガリアはロシアに接近した。

問 31 下線部①の歴史に関連して、インド独立運動における出来事を年代順に正しく配列しているものを選びなさい。

- ① 塩の行進 → 新インド統治法制定 → 国民会議派によるプールナ＝スワラージの方針の決定
- ② 新インド統治法制定 → 塩の行進 → 国民会議派によるプールナ＝スワラージの方針の決定
- ③ 国民会議派によるプールナ＝スワラージの方針の決定 → 塩の行進 → 新インド統治法制定
- ④ 国民会議派によるプールナ＝スワラージの方針の決定 → 新インド統治法制定 → 塩の行進

問 32 下線部⑤に関連して、イギリスがヒन्दゥ教徒とムスリムとの分割を目的として出した法令を選びなさい。

- ① インド統治法（1919 年） ② 新インド統治法（1935 年）
- ③ ベンガル分割令 ④ 審査法

問 33 下線部㊦に関連して、20 世紀に開かれた首脳会談の際に撮影された次の写真 1・2 と、その内容に関する下の文ア・イとの組合せとして、最も適当なものを選びなさい。



写真 1 前列左からチャーチル，ローズヴェルト，スターリン



写真 2 前列左からチェンバレン，ダラディエ，ヒトラー，ムッソリーニ

ア この会談で、東アジアと太平洋の戦後処理に関するカイロ宣言が発表された。

イ この会談で、イギリスとフランスは、宥和政策に基づいて、ドイツの要求を受け入れた。

- ① 1 — ア ② 1 — イ ③ 2 — ア ④ 2 — イ

問 34 下線部⑤に関連して、イギリスの自治領となった地域や国の名として、誤っているものを選びなさい。

- ① カナダ
- ② オーストラリア
- ③ ニュージーランド
- ④ エジプト

問 35 下線部⑥に関連して、1947年のイギリス領インドの独立およびその後についての記述として、最も適当なものを選びなさい。

- ① パキスタンは、ヒンドゥー教徒を中心とする国として独立した。
- ② インドは、仏教徒を中心とする国として独立した。
- ③ 独立後に、パキスタンとインドの間では、カシミールの帰属をめぐって紛争が発生した。
- ④ 独立後に、パキスタンとインドの間では、ブータンの帰属をめぐって紛争が発生した。

問 36 下線部⑦に関連して、東パキスタンが独立した後の国名を選びなさい。

- ① バングラデシュ
- ② ミャンマー
- ③ アフガニスタン
- ④ ラオス